時事新報は日本國中唯一の毎日刊行新聞紙なり

時事新報

第二千三百八十三號
明治廿二年八月十六日　金曜日
舊曆己丑七月二十日（甲子）
日出午前五時一分　日入午後六時二十八分
月出午後九時四十六分　月入午前九時五十八分
滿潮午前八時四十五分　午後九時零四分
（西曆一千八百八十九年）

時事新報

技師及び技手

明治十八年の官制改正以來內務、農商務、遞信の諸省を始めとして其各局の中に技師（奏任）又は技手（判任）と稱する一種の職名を生じ其司る所は重もに技術上の事務にして例へば鐵道とか鑛山とか道路とか建築とか申す如く專ら一局部の仕事を負擔し一般普通の事務は別に局長、次長、屬などいふものにて之を取扱ふ事となりたるが實際の關係に就て見るときは技術家は全く技術のみに關して事務の事には喙を容るゝ事なく而して事務家は局長、次長など云ふ一局を支配する地位に居るもの多きが故に同じく一局中の官吏にてありながら一方は主人の如く一方は客の如く又一方は雇主にして一方は雇人の如き有樣もなきにあらず抑何故に斯る區別を付くるにやと云ふに彼の專門の技術家なるものは其道に於てこそ立派なる學士とも博士とも申す可けれ世間普通の事は學問藝道の外にして技術家の得意とする所にあらざれば事務の取扱は別に其人なかる可らず將た技術家なるものは其道なる一局一部の事には明かなる可きも全局一般を總攬するは容易の業にあらず抑もあれ局長次長等の必要ある所以ある可し云々との說をなすものあり今の官制に於て技術家と事務家とを區別せし趣意は果して此邊に在るや否や知る可らずと雖も我輩は此の區別を以て寧ろ不必要なりと認むる者なり抑も今の諸省の各局中にて所謂技師技手の職を置く所は內務省の土木、地理に於ける農商務省の農務、商務、工務に於ける又遞信省の工務、燈臺等に於けるが如く何れも工藝技術の事に關係ある局面にして凡そ此各局に於て取扱ふ所の事柄には一として技術の事に外なるものある可らずとすれば所謂その普通の事務とても亦技術の範圍を離る可らざる譯あれば技術家をして之に當らしむるも何の差支ある可きや成程彼の海陸軍の事などに至ては戰時戰爭に出づるものと平時平務に從ふものとの別を爲すこと肝要にして此の如くせざるときは萬一の場合に忽ち差支を生ずるが故に平素よりして文官武官の別、判然たる事なれども技術の事は大に之と異にして平常非常の場合とて差したる區別もある可らざれば其擔當の人を別にするの要もなかるべし今の世の人の癖として妄りに事務々々とて事務といへば何か非常に六ヶ敷事のやうに云ふものあれども右の各局などに於ては技術の事を外にして別に重大なる事務のある可き筈もなければ之が爲めに別に事務家を置くの必要は無る可し蓋し我國古來の弊風として技術家と云へばとかく之を卑めて職人と同樣の觀をなし學者と聞けば偏に通俗心に乏しき偏屈者なりと思ふものなきにあらず而して此風は特に自ら事務家と稱する人々の中に行はるゝ由なれども少しく眼界を廣くして今の社會の實際を眺めたらば忽ち其考の妄謬なるを悟るに足る可し今日政府の官吏中には法律もしくは政治經濟の專門科を修め其學を以て出身して一局面の責に任じ活潑なる事務の衝に當るものも少なからず而して此等の人々の修めたる所を問へば即ち專門の一科にして其藝より云へば技術家、身分より云へば學者たるに相違なけれども實際は決して迂濶ならざるのみならず事を處するに活潑敏捷なる其手際は却て老練の事務家をして瞠若たらしむるものもあるにあらずや猶は近く其例を申せば現に各省中の或る局課には偶ま所謂技術家出身の人にして局長次長もしくは課長等の地位に居る者あるにあらず然るに其局課の事務は如何と云ふに之を他に比して劣る所なきのみか事務は却て速に捗どり部內の人々は皆實力を逞うして會釋する所あらざれば例の情實なども行はれずして不平の沙汰も少なく實際に甚だ便なる可きもの多しと云ふ左れば今日に於ては別に一局の中に技術家と事務家とを分ちて徒らに事を多くするの必要もあらざる可く特に政府にても目下經費節減の一方より頻りに用を節し兼て人を減ずるの折柄、我輩は前文の各局に於ても局長次長若くは屬など云ふ事務家をば別に之を置くことを止め技師及び技手の人々をして之を兼しむるの得策たるべきを勸告する者なり

雜報

○絲況の前途如何　本年は歐洲蠶業の不作なると橫濱在荷の非常に僅少なりしとを氣構へ新絲は初相場以來相應の好景氣にて殊に外商の中には直接に產地と取引するものある爲め絲の種類により橫濱よりも却て高直の地方ありて中に立ちたる橫濱取引商は多少迷惑を感じたりしが斯る變則の騰貴は長く續くべくもあらず且つ先日來は地方の舊盆に際し金融殊の外逼迫したるより一般に賣急ぎの傾きを生じて安直を唱ふるに至り本年の春蠶も初め豐作なりとの噂に似ず中途にして風雨の爲め蠶兒を殺し先づ平作位ゐの割合と成り夏蠶も濡桑を食はしめたる爲め頓死するものあり或は上簇は可なりの作なるも絲量の案外に僅少なるもありて旁々不作の模樣なれども全國一般の蠶繭高は年一年より增加の傾きありて本年橫濱に集る生絲高は昨年よりも餘程多額の見込ある上に毎年の例として今頃よりは絲況次第に低落するとなれば目下の在荷七千個計りにして未だ荷嵩みと云ふにあらねど內商は未來の荷嵩みと低落とに弱氣を持ち賣急ぐ其足元を見て外商は容易に手出しせず殊に米國向の太物は昨今頓と手合せなく寧ろ佛國向の細物の方賣口宜しきも之れとて賣るとあれば時價より多少安直ならでは約束纏まらず間々上直に引込みあるは本國より注文筋のみなり要するに昨今の景況を概評すれば氣配甚だ靜穩にして先づ白眼合ひの姿と云ふべく而して內景氣は甚だ弱氣を帶び居れり左れば向後若し橫濱絲況の安直なる事歐米市場に知れ渡り續々注文あるに於ては今日の不味は却て後日の好景氣を來すの媒ならんなれどもそは遠き後日の話（若し此事ありとせば）にして此處數日間は尙ほ次第に低落するの外なかるべしと云へり

○線路の延長　房總鐵道馬車會社にては千葉縣下曾我野より同縣下千葉町へ線路を延長せんとて兼て出願中の處此程許可になり目下其測量中なりと

○八重山艦　は橫須賀鎭守府造船部に於て目下專ら其內部の製作中にて最早近日には悉皆落成を告ぐるよしなるが同艦の總乘組員は百九十五名にて艦長は大佐を以て之に補し別に副艦長を置かざる筈なりと云ふ

○露國軍艦の入港　露國軍艦エルメスコ號は浦鹽斯德より一昨十四日午前六時橫濱へ入港したりと

○府廳の新築地　數寄屋橋內なる同廳の新築地は昨今地均し工事も略竣り土臺下練瓦の燒立も昨今過半出來したるよしにて來る十月を以て建築工事に着手する豫定なりといふ

○京都公民會と交話會　目下京都に於ける政治上の團體は其數少なからざれども他日牛耳を政論壇上に執るべきものは先づ公民會と交話會（其主義は大同派に類して稍着實なり）との二者に外ならざるべし而して二者各其主義を異にすれども未だ其鋒刄を交へず只互に聲望を攬め以て早晚一擧に其雌雄を決せんと欲するものゝ如し公民會は曩にも報道せし如く去る九日同會事務所に於て其常議員會を開き條約改正の事に關する種々の談議ありしに其多數は非條約改正の方なりし向は同會は去る十二日午後七時より祇園花見小路なる有樂館に於て市內會員及近郡會員の臨時總會を開きたる由又交話會に於ても同じく去る十日午後一時より下京七條通りの泉月樓に於て條約改正の件に付集會を開き且同會の主旨を普く公衆に示さんとて今回「良民」と題する雜誌を發行することに決し十一日を以て其第一號を發刊せりといふ

○福嶋縣下棚倉に於る兩黨の演說會　福嶋縣棚倉の大同派員は今度東京より河野、稻垣、綾井等の諸氏を聘して今十六日演說會を開く由なるが右に付同地の改進黨員も東京より辯士を招き明十七日頃に演說會を催はす筈なりと

○靜岡縣下の政況　同縣下にては近來大同改進兩派の間に軋轢の傾を生じ負けず劣らずの有樣にて互に演說會を開らき甲論乙駁殆んど寧日なきの姿なれども農工商等一般の人民は之れが爲め別段に感情を惹き起されたる樣のこともなく今日の處にては先づ以て政熱冷かなる方なりと同地よりの近信に見ゆ

○福井の政況　福井縣下にては大同派最も勢力ありて近來ますます黨勢を擴張せんが爲め南越倶樂部なる一團體を組織し之れが黨員を募集せんと杉田定一氏二三の隨行者と共に各郡を巡回して遊說を試みしに加入の黨員頗る多く隨て其の義捐金も豫算に超ゆるの有樣なれば同派の人々は愈々之に氣を得て縣下より撰出さるゝ國會議員は一人も殘らず黨中より出でしむる樣にせんとの意氣込ありと云へるが他は兎に角今日の姿にて推し行かば地方に在りては將來可なり目星しき一政派ともならんかと福井よりの近信に見えたり

○條約改正決行の建白　近來は各地に條約改正決行の建白をなす者續々輩出せるが爰に又た石川縣の有志者も去る十日建白書を縣廳へ差出し添翰を得て直に元老院へ捧呈したる由なり

○刈羽郡の補缺撰擧會　新潟縣越後國刈羽郡撰出の縣會議員山口權三郎氏（改進派にして前縣會議長）が過般農業視察として歐米に渡航の際辭職したるに付き其補缺の爲め本月十二日同郡役所に於て撰擧會を開きたるに關矢儀八郎氏（東北日報の記者にして大同派）と藍澤敬一氏（改進派）との間に競爭ありしも百二十八點に對

する千百六…
るよし
○德嶋夕報…
し小說を加…
賣ありとい…
○新聞紙發…
ども昨今は…
が矯正の工…
の諸郡より…
廿三年以後…
○福岡の近…
郡とも稻田…
今那珂早良…
にて螟虫發…
村にして稻…
區畫の田園…
螟虫の太さ…
も此虫は未…
れば今より…
も止るあら…
其一に居る…
本年の稻作…
遇して一時…
にて虫害の…
て曾に螟虫…
生し內外と…
て見ゆ先づ…
は二分の…
共害は豫…
ても夫れ…
迚も一朝…
歸除從…
當福岡へ…
縣に立寄…
知事が伯…
（八月九日…
○紅茶製…
年々海外…
の製茶品…
かば久し…
たる熊本…
計畫ある…
ば可德氏…
傳習所と…
習するよ…
○土用越…
或商人が…
昨年は全…
りし故本…
るべしと…
に至りて…
年度は肥…
成分の素…
んと思は…
米は二分…
○大阪鎮…
府の國境…
し猶は多…